



奈良市在住 18歳の高校生(RYU)が 裁判をたたかうことを決意

当事者本人が原告になる全国初の裁判に

若者の個人情報 を自衛隊に渡さない

奈良市在住の18歳の高校生(ニックネーム「RYU」)が原告となり、「若者の個人情報
を自衛隊に渡さない」裁判をたたかいます。奈良市長を訴える裁判です。

奈良発の

憲法裁判としての意義も

自分の個人情報
を承諾なしに自衛隊に流出させられた、当事者である若者本人が原告となつてたたかう全国で初めての裁判です。個人情報保護の権利に留まらず、「憲法裁判」としての意義があると指摘されています。

支援する会が発足

裁判でたたかう決意をされたRYUさんと保護者を支え、裁判勝利を勝ちとるための大きな支援が求められています。

10月14日の前田定孝氏(三重大学准教授)を講師に招いた自衛隊への



RYUさんってどんな若者？

10月13日、奈良県平和委員会の河戸理事長がRYUさんと会って歓談。「とっても素直な好青年」というのが第一印象で、大学受験を控える大切な時期に裁判に踏み切ることにしても「全然大丈夫です」と明るく応えられました。

総勢11名の 強力な弁護団を結成

奈良、京都、兵庫の7名の常任弁護団と、福岡、名古屋、宮城、北海道の4名の協力弁護団による総勢11名の強力な弁護団の結成が実現できました。

40代から70代まで各年代を網羅するベテランと若手、中堅のベストチームです。弁護団の八木和也弁護士からは「自らの個人情報
が知らないうちに他の機関に提供され、知らないうちに利用されることなど憲法違反であることを世に知らしめたい」とのコメントも寄せられています。

いよいよ、訴状の作成が始まります。

全国規模での裁判支援 奈良の奮闘が勝利の鍵

全国注視の裁判となります。平和委員会を軸に、強力な弁護団の組織とともに全国規模での裁判支援の体制づくりも始まっています。しかし、何と言っても地元である奈良の奮闘が裁判勝利の鍵となります。

あなたに呼びかけます
「会員になってください、
支援募金へのご協力を」

長期の裁判になることも予想されます。弁護団の活動を支える費用、ニュース発行や学習会などの活動はすべて個人や団体によるカンパによってまかなわれます。本気で裁判勝利をかちとるために、当面、100万円の基金が提起されています。

まずは、あなたが「支援する会」の会員になってください。そして支援募金へのご協力を！

支援募金の送金先

郵便振替

0092017118231

《加入者名》奈良県平和委員会

◎「裁判支援募金」と記載を。

「若者の個人情報 を自衛隊に渡さない裁判」を 支援する会ニュース



2023年10月28日 第1号

《発行》「若者の個人情報
を自衛隊に渡さない裁判」を支援する会

【事務局】〒639-1104 大和郡山市井戸野町9-6

☎ 0743(20)7183 FAX:0743(20)7184

E-mail:narakenheiwaiinkai@iris.eonet.ne.jp